

夢湧き、夢に夢中

第 3 号

令和 6 年 5 月 16 日 文責：大谷

威風堂々

234人の夢を一つにおもい

わたしは、音楽家ではないし、これまでに音楽を深く学んだこともない。しかし、「威風堂々」と聞いて、最初に思い浮かぶのは、エドワード・エルガーが作曲した行進曲だ。この曲をバックに、凜とした実に堂々とした姿で運動場に立つ光景が、今から楽しみでならない。

◇ ◆ ◇

「わたしたち青団は、積水成淵(せきすいせいえん)を目標に日々練習に取り組んできました。小さいものでも、集まれば強くなるという意味がこもっています。青団全員で、また南阿蘇中生徒全員の力を合わせて、素晴らしいものを創り上げたいと意気込んでいます。これまでの練習でも、最初はうまくいかないこともありましたが、少しずつまとまりができて、強い集団として練り上げることができてきたと感じています。最後に笑って終われるように、青団全員で思い出に残る体育大会にします。」(青団団長)

「僕たち赤団は、日々の練習を全員で一生涯懸命頑張ってきました。結団式からこれまで決して楽な道ではありませんでした。動きが遅かったり、返事が小さかったりと、はじめは揃わない部分もありましたが、赤団全員で一つの大きな炎になるために、応援団リーダーはじめ団員全員の心を少しずつ一つにして、最高に輝く赤団に成長してきました。今日は輝く赤団で最高の笑顔あふれる体育大会にします。」(赤団団長)

火曜日に実施した予行練習では、限られた時間の中で練習してきた「中間成果」を披露してくれた。二人の団長の言葉通り、一人一人の思いが凝縮された団結力や、演舞の一挙手一投足に込められた熱意を感じた。その反面、まだあと二日ある。この二日で、もっと仕上がるはず。そんな期待も湧いた。当日が楽しみである。

◆ ◆ ◆

また、同日の予行練習では、本校の伝統のひとつでもある「全校応援」を初めて拝見した。八年前、開校直後に熊本地震で被災した中、各地から多くの支援をいただいたことへの感謝の気持ち表現するべく、当時の生徒会執行部を中心に発案されたこのことで、この演技にかける南阿蘇中生の心意気に、なお一層圧倒された。そして、執行部の生徒らから届けられる数々の言葉に、熱いものがこみ上げる。(言葉の内容は当日お聞き下さい。)

「これが、南阿蘇中の生徒たちが伝えたい夢(おもい)なのか」

そう気づかされ、今も胸を熱くしている。

◇ ◆ ◇

この体育大会を通じて、二三四人がどんな夢(おもい)を湧かせ、その夢(おもい)を成し遂げるために、仲間とどれだけ夢中になれるか。とにかく本番が楽しみでならない。天気は、今のところ心配なし。あとは、二三四人の心と身体の準備をくれぐれも万全に。

- 先日のPTA除草作業では、お忙しい中ご協力いただき誠にありがとうございました。おかげさまで、素晴らしい環境の中で体育大会をはじめ日頃の教育活動に取り組むことができます。今後ともよろしく願います。
- 18日(土)の第9回体育大会では、多くの保護者様のご観覧を心よりお待ちしております。なお、駐車場や観覧場所等については、別途お知らせしますので、そちらをご確認のうえ、ご協力をお願いいたします。